

■相良知安 蘭方医。明治維新時の医学行政官として、ドイツ医学の採用決定に貢献をするも、不遇の晩年となった。

さがらともやす

.....1836= 佐賀城下で、同藩医柳庵の子に生まれる。

大塩平八郎乱1837= 1歳 :

阿部正弘首座1845= 9歳 :

ペリー来航・1853=17歳 :

開国開港・・・1854=18歳 :

同地で蘭学の習得などを行ない、藩医学校で生徒長に選ばれ、

桜田門外変・1860=24歳 : 江戸に留学を命じられ、

遣欧使節・・・1861=25歳 : 佐倉にある佐藤尚中の順天堂に入門、塾頭まで務める。

生麦事件・・・1862=26歳 : 長崎に転じ、

8月18日政変 1863=27歳 : 精得館でオランダ海軍軍医ボードインについて学び、館長になる。

ボードインにオランダ留学を勧められたが、帰藩して鍋島閑叟(直正)の侍医となり、

明治維新・・・1868=32歳 : 明治維新になって、閑叟に従い上京。

戊辰戦争終・・・1869=33歳 : *岩佐純とともに、医学校取調御用掛を命ぜられる。当時わが国は英米語系の医学がすでに入っていて、ことにウイリスは功があり、英国医学を取ろうとする勢力はあなどれなかったが、日本の医制に待ったをかけ、恩師で政府顧問フルベツキから得た'ドイツ医学が最優秀'との証言書を楯に、岩佐とともに政府要人を説得、廟議でドイツ医学採択を決着させるが、

初の日刊新聞1870=34歳 : 冤罪で弾正台に逮捕投獄される。普仏戦争の関係でドイツ人教師の来着が遅れることなどがあったが、

廃藩置県・・・1871=35歳 : *ミュルレル・ホフマンが来着、これよりドイツ語系医学がわが国に定着することとなった。また上野の寛永寺の焼け跡を医学校の敷地にすることを主張したが、これはボードインの反対により実現せず、現在は上野公園となっている。「医制」の起案にも関与した。

学問のすすめ1872=36歳 : 無罪となり、第一大学区医学校長、

明治6年政変 1873=37歳 : *文部省初代医務局長を兼ねたが、

周囲と調和せず、まもなくこれを辞し、

明治14年政変1881=45歳 :

内閣発足・・・1885=49歳 : 文部省編輯局に勤めるがこれも長くはなく、官を去り、

帝国憲法発布1889=53歳 :

帝国議会始・・・1890=54歳 :

日清戦争始・・・1894=58歳 :

Bushidou・・・1899=63歳 :

晩年は窮乏の生活を送り、

売卜の身となって不遇のうちに、

日露戦争終・・・1905=69歳 :

韓国反日暴動1907=71歳 : 病没した。

昭和10年、東大構内に顕彰碑が建てられた。